新たなカーボンニュートラル宣言

環境負荷の少ない ISO タンクコンテナによる総合サービス

タンクコンテナビジネスの脱炭素化を一段と推進

日本コンセプト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松元 孝義、以下　日本コンセプト）は、脱炭素社会実現への動きが世界中で加速する中、タンクターミナルでのタンクコンテナの洗浄やメンテナンスをする際に、石化燃料に代えてソーラーシステムを活用した更なる脱炭素化を京浜支店（神奈川県川崎市）にてスタートいたしました。2025 年までに、国内 8 か所にある全支店およびマレーシアの現地法人に同システムを導入していきます。

■背景

1994 年に創業した日本コンセプトは、地球環境を破壊せずに化学品やフロンガスを輸送するため、反復利用できる ISO タンクコンテナの普及を世界規模で独自に展開して参りました。一方、脱炭素社会実現の機運が世界中で高まるなか、昨年 10 月には「2050 年カーボンニュートラル宣言」が日本政府から発表され、2050 年までに脱炭素社会を実現し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが目標として掲げられました。

日本コンセプトは、創業 30 周年を控えるこのタイミングを脱炭素化推進の好機と捉え、全社挙げて更なる環境対策を行うための新規設備投資を実施するという決断をいたしました。それが、「タンクコンテナビジネスの更なる脱炭素化推進」です。



▼ソーラーシステムを活用した「更なる脱炭素化の推進」

日本コンセプトの事業は、「タンクコンテナを利用して化学品やフロンガスを輸送する」だけにとどまりません。

独自のノウハウを活かしながら、厳しい環境基準を満たした洗浄や高度なメンテナンスを施した高品質のタンクコンテナを常時ご用意しているほか、危険品とされる化学品の保管および加温事業、タンクローリー等への移し替えサービスも提供しています。また地球温暖化やオゾン層破壊を防止

＜お問い合わせ先＞　広報部 IR 担当　inquiry@n-concept.co.jp

するため、フロンガスの回収・再生・無害化の処理も厳格に実施しています。
更なる脱炭素化を推進するにあたっては、従来石化燃料を燃やして二酸化炭素を排出しながら沸かした蒸気を使用していた作業工程（貨物を輸送したタンクコンテナの洗浄や融点の高い貨物の加温⇒液化させて移し替え）に代えてソーラーシステムによる発電を利用したヒートポンプで沸かした温水を使用します。
このほか洗浄や加温作業で使用している水についても、今後はこれまでの工業用水に加えて雨水の活用への切替えも進めます。
この脱炭素化は、京浜支店でのシステム導入が完了次第、国内にある残りの支店全部とマレーシアにある現地法人への導入を順次進め、2025 年までに全拠点の切り替えを完了いたします。

以上

＜お問い合わせ先＞　広報部 IR 担当　inquiry@n-concept.co.jp